

※↓この欄には何も記入しないでください

第11回 全国高等学校 ビジネスアイデア甲子園 応募用紙

提出日 2012年 月 日

ビジネスアイデア名	<h3>「ザ・スマート駅's プレス」</h3>
アイデアの内容	<p>＜記入のポイント＞</p> <ul style="list-style-type: none">①アイデアの概要(どのようなものですか)②アイデアを思いついたキッカケ③これまでのものとの違い④商品やサービスなどのイメージ図 などを織り込んでまとめてください
<p>①このサービスは、新幹線の車内販売において商品が欲しい時に、乗客がスマートフォンを用いて商品を注文すると乗客の座席まで商品が届くサービスである。また、注文する時に商品の庄内内容の表示や届くまでの予定時間が分かるサービスである。</p> <p>従来の新幹線車内での商品販売サービスでは、販売用のワゴンを用いて新幹線車内を往復しているため、商品を購入しなくても新幹線は編成が長いので、欲しい商品が欲しい時に買えない場合があった。そこでこのサービスでは、乗客が欲しい商品の情報や購入できる待ち時間等の情報を提供することによって、顧客が新幹線車内で快適に過ごすことが実現できる。</p> <p>このサービスの提供方法は以下によって構成される。</p> <p>(1)商品情報(価格、在庫など)の閲覧、検索、商品を注文してから届く時間を確認したり注文したりするためのスマートフォン。このスマートフォンは、顧客が所持しているものを使用する。</p> <p>(2)各販売商品の商才情報データベースこれらの情報は、スマートフォン、タブレットで閲覧できる形式とする。また、乗客からの注文を受けてから注文された商品が乗客の席まで届く時間を推測し、提供する等のサービスも含む。</p> <p>(3)商品の注文者へ効率的な商品のデリバリーを行うための商品ストックスペース。新幹線の車両編成で最適な配置を考慮する。</p> <p>(4)また、車内販売のない「こだま号」においても購入したい駅を選び、その駅での列車の停車中に車内の購入者席まで商品を届けるための各駅売店と連携させ情報システム。</p> <p>だが、このサービスを提供するには、乗客のスマートフォンに事前に新幹線の車内販売サービス用のアプリケーションをダウンロードしてもらう必要がある。そのアプリケーションを開発する費用が必要となる。この費用は、このサービスを提供することによって、従来に比べて効率的な商品販売を実現することによって捻出可能である。例えば、サービス提供者が途中駅に連絡し、停車中に予め不足しそうな商品を補充することができるので、在庫切れによる販売機会の損失を減らすことができる。また、あまり売れない商品等は、事前に入荷数を減らすことによって、賞味期限切れなどにより商品を廃棄を減らすことができる。</p> <p>②夏休みに新幹線を利用した時、飲み物やお弁当などの商品が欲しいと思ってもなかなか車内販売がこなかったり、車内販売のないこだま号では、駅に停車中に電車から降りて買いにいったりしなければならないことがあった。また、疲れて寝たいと思っても、寝ている間に車内販売が通りすぎてしまう可能性があるため、来るまで起きて待つていなければならない。更に車内販売のないこだま号の場合は、「のぞみ号」の通過待ちで停車している時間に一旦車両の外に出て商品を買う必要があるため、常に列車の発車時間を気にしながら行動する必要があった。このような不安を解消するために利便性の向上が図れる今回のサービスを考えた。</p> <p>③ワゴンセール販売は自席まで来る時間が不定期であるため、欲しい時に購入することが難しい。しかし、今回提供するサービスでは乗客の座席まで商品が届き、乗客が注文する時に商品が届く予定時間が分かる。そしてこだま号では、乗客自らが車両の外に出る必要がなくなるため、車両の外に出ている間に列車が発車してしまう不安が解消され、快適に移動時間を過ごすことができる。</p>	

《注意事項》 応募は、本紙またはコピーを使用してください。

応募要項および応募用紙は用センターへご請求いただくか、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」ホームページ

【大阪商業大学】⇒【リエゾンセンター】⇒【アイデア甲子園】(http://ouc.daishodai.ac.jp/research/high_school/business_idea/)からダウンロードしてください。

追加資料をつけても構いません。ただし A4・1 枚のみ。※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。